

社会福祉法人 永寿福祉会

令和6年度 事業報告書



1. 法人全体の事業活動の総括

- 令和6年度の同時改定の混乱もあったが、従業員一人ひとりの努力と協力によって、サービス提供を行い、各事業を継続することができた1年間であった。
- 令和6年度は、法人の体制を協議・検討し再構築を余儀なくされる状況下での事業運営と経営を行うことが求められ、経済的な結果を残せない年度となった。
- 具体的には、タイムリー且つ細かな確認と協議の実施や後追いによる、各事業所と法人とのコミュニケーションの機会が減少したことが反省すべき点である。
- コンプライアンスを重視する経営は、監査法人による監査、外部専門家による研修、日々の業務へのルールや規律の反映、法人本部や役員の指示による内部監査の実施等により、継続して逸脱することのない運営と経営を行うべく努力した。
- 役職や専門性の違いにかかわらず、従業員同士の協力や連携の在り方と方法、コミュニケーションの意味の理解についての取り組みの重要性を改めて認識すべき年度となった。

3. 従業員の状況

- 全体として、配置基準上大きな課題になる事業所の発生は防ぐことができた。
 - しかし断続的に退職の発生した事業所については、人員配置状況を維持するために、紹介サービスを活用することを始め、多大な費用の支出となった。
 - 人員配置状況に課題が残る事業所は、単年度ではない課題も認識する必要がある
 - 外国籍従業員を採用する状況も継続し、意欲の高い経験のある従業員を採用できた。
 - 一方で外国籍従業員の全体での比率が急激に増えたことで、育成と教育には各事業所で多大な努力を要しての定着支援が行われた。
- 産業カウンセラーと産業医の連携を維持し、復職・復帰支援や相談の充実が図られた結果、離職防止効果や、円滑な復帰に繋がる結果を維持することが出来ている。また、キャリア面談の実施により勤続年数のある従業員への面談も開始されたことにより、従業員の課題発見や意識の変化に繋がった。
- 健康診断実施後の、従業員の健康管理や維持に関して継続した対応を行った。
- 衛生委員会の活動についても継続した対応を行った。
- 障がい事業では、EPAによるフィリピン人の介護福祉士候補生の新たな入職があった。また高齢事業においては、外部企業との連携による継続した外国籍従業員を介護職を中心に開始し、継続することができている。外国籍従業員の受け入れと育成は、配属先の従業員の多大な努力と協力によって実施され、定着に大きく寄与した。

4. 高齢事業

- 感染症対応については、新型コロナウイルスを含むいくつかの感染症対応の実施で、一時的に経営状況に影響があった事業所があったが、高齢事業全体としては、全ての従業員の感染症予防に対する意識の維持と対応の徹底によって、お客さまへのサービス提供を途切れることなく実施することができた。
- コンプライアンスを重視した運営と経営を行った。令和5年度に指摘された、行政からの監査や運営指導を受けた事業所においては、継続した対策と取り組みを行い、年度内で一旦終結を認められる結果となった。
 - それぞれの事業所では、新しい委員会の体制を基にしながら、法的根拠や目的と意義について改めて全体で認識を共有し確認した。
 - 継続した対応の必要性が認められた事業所には、月次の定例ミーティングを中心に確認と調整を実施し、継続した取り組みを行った。
- 事業所での転倒などの事故が原因の受傷による入院や、体調不調による入退院の発生の頻度による経営状況への影響を注視しながら、サービス提供に取り組んだ。
- 各事業所従業員が一丸となって、準備やデータ入力等に対応した結果、記録の統一やペーパーレス化など、より生産性の高い運営へ移行を進めたことに加え、音声入力について深化させる様に取り組んだ。
- 先進的な技術やツールを導入・運用する部分においては、引き続き取り組みを継続させる状況である。。
- ノーリフトケアコーディネーター・ベーシックの受講者を追加するとともに、令和5年度受講者がアドバンスコースを受講することで、ノーリフトケアの導入と実現に向けた体制整備を続けることができた。

5. 障がい事業

- お客さまの高齢化が進み、特に永寿の里彩羽、永寿ホームあおぎりの入居型施設においては、体調の急変による緊急搬送などの回数が増えた。日常の体調管理や緊急時対応のスキル、医療職との連携などの必要性が年々大きくなっている。
- 報酬改定に伴い、通所型の生活介護事業を実施する永寿の里若葉においては、利用時間の再調整や送迎方法の見直しを迫られる事になった。また利用時間によって必要な常勤換算数変動する複雑な制度設計になったため、令和7年度に向け支援体制を大きく見直す必要が生じた。単年度での収益は悪化したが、次年度に向け定員数の変更及び利用時間調整などを行なった結果、人員配置体制加算Ⅱを取得できる見込みとなった。
- 人財について、年度当初には確保が進まず困難な状況が続いたが、外国人材の採用が計画以上に進み、年度内には事業運営に必要な人財を確保する事ができた。職種では運転手の雇用も難しい状況が続いている。運転ができる従業者の人数も減っており、通所施設の送迎業務、入所施設での通院対応なども含め、運転ができる従業員に負荷がかかっている。運転がしやすい小型の車両への入れ替えを進め、採用や異動に関しても運転業務を考慮しながら対応した。
- 永寿の里彩羽においては、新たな人員体制のもと、課題であったコミュニケーションなどの諸問題が徐々に解決されており、チームの再編が進んでいる。

II. 高齢事業の取り組みについて

1. コアとなる技術や方法について

- 介護マニュアルをベースにした介護技術
 - 介護マニュアルの内容を正しく実践できているかについての研修や確認をリーダー職を中心に継続して行った。
 - 確認の結果、お客さまへの丁寧さや配慮に対しての育成が最優先であるとの認識を共有し、育成・教育担当者会議を中心に継続して取り組んだ。
- TENAを中心に活用した排泄自立への取組
 - 自立支援とともにアイテムの活用や一人ひとりの排泄状況の把握のノウハウを活用し排泄の自立を通じた尊厳の回復へと取組んだ。それぞれの具体的な取り組みをTENAアドバイザーの継続的な協力を頂きながら、改善に取り組んだ。
 - 費用対効果についてのTENAからの客観的なデータも各事業所へ共有され、確認した。
 - 排泄アセスメントをより効率的に実施する方法についても検討を進める予定であったが、具体的な検討に繋がらず引き続き持ち越すこととする。
- 「個別と根拠のある」自立支援
 - インターライ方式を用いた個別と根拠に基づいたサービス提供に取り組んだ結果、お客さまの生活の向上につながるといった成果が見られた。
 - 前年度からの予定していた、ケアプラン勉強会は、令和6年度に実施できなかった。
 - リスクに関するQ1項目を毎月チェックし、事故防止対策委員会、褥瘡対策委員会、感染症対策委員会を中心とした委員会での対応を行った。

1. コアとなる技術や方法について（続き）

- 装着型サイボーグHAL®
 - 導入している事業所では、引き続き活用されている。
 - 但し、機種によっては活用の範囲が限定的なところもあり、経済的な状況も踏まえた導入の範囲等は今後検討を要する。
 - 永寿ケアセンターで訪問リハビリテーションでの、HAL®を起点とした、老健・通所リハ・サ高住・ロボケアセンター・特養のネットワークの構築については、効果的な検討や運用には至らなかった。上記の観点も踏まえ、令和7年度の継続課題とする。
- AIやセンサー等を活用した効率化等の取り組み
 - AIセンサーについては、設定や使用に関する調整を行いながら、設置している居室等で一定の効果を実現している。但し、機器の経年や機能アップデートの状況を考える、新たなシステムの検討も開始した。
 - その他、掃除ロボットやノーリフトケアに必要な機器、入浴設備等の先進的な機器などに関しては、各事業所において、それぞれが工夫を凝らしながら、検討や導入を行った。
 - 上記2点に関しての活動は、令和7年度も課題として継続して協議と検討を行う。
- フィーリングアーツ
 - 永寿フィーリングアーツセンターでの永寿平野西の家のお客さまへの実施や、法人各施設での公演を継続した。

2. サービス提供について

- 老人保健施設と併設事業（通所リハビリテーションと訪問リハビリテーション）
 - 施設サービスについては、超強化型老健としての算定を維持することに繋がった。但し、「超強化型」の維持と経営状況の両立には大きな課題を残した。
 - 通所リハビリテーション事業は、通常規模を維持し短時間サービスも含めたサービスを提供したが、経営的な安定に向けた課題を確認し、継続した対応の必要性和認識した。
 - 訪問リハビリテーション事業は、順調に高い評価を頂く事業として定着した。令和6年度は、事業所全体への経営的な安定に向けた課題は継続した。
 - HAL[®]については、全体の総括でも述べた通りであると同時に、老人保健施設としての保有機体のさらなる有効活用や適正化に向けた、全事業対象のトレーニング提供についての課題や腰タイプの有効活用に対しての検討を深める必要がある。
- 通所介護サービス
 - どの事業所も、地域での供給過剰な現状は継続しており、厳しい経営状況に変化は無かった。
 - 生活課題に対しての個別の取り組みにより効果を上げたが、通所介護事業単体としてサービスの明確化、他事業者との明確な差別化を進めることができた。
 - 但し、装着型サイボーグHAL[®]やTANOの継続的な利用、LOVOTの継続やPepperの導入、新しい入浴機器の導入など、積極的な取り組みが継続されていることから、令和7年度以降のさらなる検討と整理によって、差別化についての改善は継続していくものと考えられる。

2. サービス提供について（続き）

- 認知症対応型通所介護サービス
 - 認知症対応型においても、厳しい状況の中での事業となったが、多くのお客さまの利用希望に支えられて、厳しいながらも着実な成果を上げることができた。
 - それぞれのサービス内容やアプローチの方向性は、事業所ごとに明確になってきており、それを外部へ訴求していくことも継続した。
- 居宅介護支援事業
 - 令和6年度も、コンプライアンス意識を高く維持するで運営が出来た。
 - 特定事業所として多くのお客さまを対応することになったことにより、経営面でもより確実な管理と運営状況を維持することを継続するように努力した。
 - 法人の唯一の居宅介護支援事業として、法人内のあらゆる事業との連携や貢献をより見える様にしていくことが重要な要素となることは変わらず、継続した取り組みが求められる。
 - 仕事の進め方や管理方法については、効率化や省力化について取り組みを開始することが出来たため、役職者、リーダー職が中心に継続に向けた活動を開始した。
- 小規模多機能型居宅介護支援
 - 令和6年度は、事業所として改善した内容を維持し、人員配置の面ではチームとして安定の面で大きく改善した。
 - 但し、大阪市への改善報告が必要な事態も発生したことから、より一層高い意識を持ってサービス提供にあたる必要がある。
 - 引き続き、認知症対応型通所介護、居宅介護支援事業、サービス付き高齢者向け住宅など、法人内サービスとの密接な関係を構築していくことも重要である。

2. サービス提供について（続き）

- 介護老人福祉施設サービス
 - 介護老人福祉施設の入所サービスは、全体的に目標に近い数値を維持することができたが、達成には至らなかった。
 - 感染症の対応が散発的に発生したことにより、サービス提供や体制の維持が困難となる時期があったことも要因ではあるが、感染症対応以外での経営的な部分についての課題を認識した。
 - 事業所ごとにそれぞれ違う課題があるが、社会資源としての特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設としての使命を経営の安定化につなげる重要性と外部環境の緊張した状況を強く認識する必要がある。
 - より効率的で確実な管理が行えるように、事業所間連携とサービス間連携の充実を具体的に検討し、実用につなげることが、令和7年度から次期改定までの課題である。
- 短期入所生活介護サービス
 - 短期入所サービス実績としては、入所の空床を短期入所サービスで必要な臨時利用などで活用して頂くことなどで、多くの宿泊ニーズに対する社会資源として活用すると同時に、経営にも大きく貢献したが、入所待機とのバランスなどについての工夫など、課題も認識された。
- サービス付き高齢者向け住宅
 - 優位性を持った価格設定、広い部屋の面積や充実した設備による魅力ある施設であること、外部サービスを活用する事での開かれた施設であることなど、他のサ高住との差別化がされていることを十分に生かせず、業績の大幅な改善に繋がらなかった。
 - 令和6年度末に新たな管理体制を構築し、瓜破南エリアの中の重要な拠点として、令和7年度の業績改善に繋げる準備を行った。

III. 障がい事業の取り組みについて

1. 全体の事業活動について

- ・大きな懸案事項である人財確保については、近年続けてきた外国人人財の採用が大きく前進した。少人数から始まった外国人人財の雇用であったが、業務や学習における手厚いサポート体制、先行して働いている従業員がいるという安心感から、入職希望者が増えた。また入職後も、職場や生活環境などの相談を行なえる先輩の存在は大きく、定着に大きく寄与している。
- ・また、国内の採用活動については、2023年1月に実施した「施設のオープンキャンパス」に参加した2名の学生が2025年度の採用へつながった。「施設のオープンキャンパス」については、学生や教員にも好評であり、2025年5月には専門学校から希望があり、再度実施する事が決まっている。
- ・永寿の里彩羽においては、今年度も安定した収益が確保できた。永寿ホームあおぎりについては、継続した研修の受講により、新たに重度加算を算定し収益の増加につながった。永寿の里若葉については、報酬改定の影響を受け単年度の収支が悪化したが、次年度に向け利用時間や送迎方法の調整、定員数の変更を行い、次年度の収支改善へ向けた取組を行なった。
- ・事務業務の一部が属人的になっており、業務の遂行に支障が生じる事があった。年度の後半に、業務の標準化を目的として通所、入所、グループホームなどの事業全体の事務を総合的に行う体制整備を開始した。

2. サービス提供について

- ・お客さまの高齢化が顕著な永寿の里 彩羽、永寿ホームあおぎりにおいて、体調の急変による緊急搬送が増えた。今後も高齢化は進むため、生活支援員が緊急時の対応に関するスキル、日常生活での健康管理を行うスキルの習得を図っていく必要がある。また、併設の特別養護老人ホーム長吉との協働を模索する。

IV. 社会貢献事業の取り組みについて

1. 社会貢献事業（大阪しあわせネットワーク）

- 大阪府社会福祉協議会の社会貢献事業へ参加し、老人福祉施設（介護老人福祉施設）を窓口にも、制度の挟間や社会的環境による生活困窮者への金銭的支援を含めた生活支援に取組み、社会貢献支援員、各施設管理者と相談員、及びコミュニティーソーシャルワーカーを中心に、支援を行った。

2. 社会福祉法人等による利用者負担額減免事業

- 特別養護老人ホーム3か所と通所介護事業所4か所にて生活困窮者に対して利用料金の一部を減免し必要なサービスが受けられるように支援した。

3. 生計困難者のために無料又は低額な費用で介護老人保健施設を利用させる事業

- 老人保健施設永寿ケアセンターにおいて、生活困難者においても老人保健施設が利用できるように、利用料金の減免を実施し生活困難者の受け入れを行った。

4. 認知症高齢者緊急ショートステイ事業

- 大阪市の認知症高齢者緊急ショートステイ事業の受入事業所として、永寿特別養護老人ホームを登録し、必要な利用が発生した際は速やかな対応を行った。

5. スヌーズレンカフェの開催

- 開催することは出来なかった。

V. 社会貢献事業の取り組みについて（続き）

6. 平野区若年性認知症総合支援センターの運営に関する活動と協力

- 喜連の杜を平野区若年性認知症総合支援センターの拠点とし、地域の若年性認知症に関する相談等に応じる場としての活用を継続し、多様な専門職の関わる社会資源として継続した。

7. 障がい者雇用の推進と職場定着

- 継続した職場定着を各事業所で確認しながら継続することができた。一部の事業所では、新たな障がい者の雇用に取り組み、今年度も新規雇用を実現することが出来た。
- しかし、雇用推進として大きな進展と言える規模ではないことに対しては、令和7年度以降も引き続き検討と協議を行うこととする。

8. 中間的就労への取り組み

- 大阪市の就労訓練事業（中間的就労事業）の受け入れ事業所として、登録を継続した。令和6年度も、直接雇用に結びついた人たちの維持を行った。
- 新規の体験や雇用にはつながらなかったが、平野区役所の担当者は外部機関の相談員等からの相談や見学の対応をすることを引き続き行った。

VI. 苦情解決・第三者委員活動

1. 苦情解決

- 令和6年度に寄せられたご意見や苦情の内訳は以下の通り。高齢事業(表1)は、各事業所の苦情件数を、障がい事業(表2)は苦情分類ごとの件数となる。苦情やご意見の内容は報告書を本部とも共有し、必要な場合は、法人本部と連携し対応を行った。今年度は、大阪介護サービス相談センターの協力のもと対応した件もあった。

表1

	5年度	6年度
喜 連	3	4
小規模多機能喜連の杜	2	8
長 吉	0	2
永寿特養	3	5
ケアセンター	2	3
ロボリハ・コート永寿	0	0
長吉西	0	3
平野西	0	0

表2

6年度	援 助	生活支援	従業員	その他	合 計
若 葉	0	1	0	1	0
彩 羽	0	0	0	0	0
あおぎり	0	0	0	0	0

2. 第三者委員

- 令和6年度においても、委員の訪問は実施しなかったが、お客さまから第三者委員に直接連絡を頂いたご意見等に対応し、報告等を行った。

VII. 外部評価・自主監査について

定期的な法令順守の状況の確認について、内部監査の実施及び本部と事業所連携によるチェックシステムの導入と見直しを実施し、コンプライアンスを維持・強化するための活動を行った。

1. 会計監査法人による監査の実施

- 法令に基づいた、監査法人による監査を受審し、必要な対応を行った。

2. 法人本部による内部監査の実施

- 法人本部による内部監査を受審し、管理業務の実施状況を監査し必要な対応を行った。
- 業務の平準化と自動化を促進するために、令和7年度も継続して実施する。

3. 各担当による自主監査の実施

- 運営指導とそれに必要な自主点検票の内容などを用いた内部監査を実施。
- 人員配置等の法令に基づいた基準を適切に管理し、経営上の基盤を維持することができるかのチェックシステムを運用した。介護保険のチェック結果については、経営会議報告事項とし、全体で共有することで、コンプライアンス意識の向上に繋げた。

4. 役員によるコンプライアンスチェックの実施

- 役員の指示を受けた担当部長による、サービス提供部分を含む、法人各事業全般のコンプライアンスチェックを定期的、また必要に応じて実施した。
- 改善項目等は、役員を通じて指示され、事業所における改善が継続的に実施されている。

VIII. 会議・委員会について

1. 法人経営に関する会議等の実施状況

- 理事会
 - 毎月1回を基本として、法人事業の経営に関する協議と決定を行った。

2. 事業経営に関する会議等の実施状況

- 施設長会議
 - 法人役員と管理者以上の役職者及び本部従業員が参加し各月15日を基本とし月1回開催した。社会情勢の変化に基づいた方針の確認を行うとともに、高齢事業と障がい事業及び事務・管理に関する部門での状況の確認と共有を実施した。また、法人全体と各施設における状況の確認と必要な対策の確認を実施した。
- 期初会議
 - 法人経営にとって重要な会議であることを再確認し、オンライン実施による開催により、役職者に対しての必要な伝達や意識の醸成を定期的に変更した。
- 役員・管理職会議
 - 法人経営にとって重要な会議として、オンライン開催により、法人経営管理職以上の役職者に対しての必要な伝達や意識の醸成を年末と年始に変更した。

IX. 人財育成の取り組みについて

1. 内部研修について

研 修 名	参 加 者	実施日	研修場所	研 修 講 師
新入従業員研修	新入従業員（令和6年度採用者）	3月28日・30日	永寿ケアセンター	内部（法人各担当者）
ハラスメント研修	主任補佐以上の役職者		法人本部	外部（弁護士）
交通安全研修・安全運転管理者研修	運転を実施する従業員・安全管理者	個別の研修予定に基づく	各施設	内部（法人本部担当者）
介護技術研修	各施設従業員	各事業所の予定に基づく	各施設	育成担当・係長・各主任・各主任補佐等
認知症介護実践者研修 認知症介護リーダー研修 認知症介護管理者研修	各施設で選抜した従業員	各団体研修に基づく	外部	大阪市社会福祉研修・情報センター
セルフキャリアドック	管理者・課長・係長	個別の研修計画に基づく	法人本部	法人カウンセラー
7つの習慣研修	各施設で選抜した従業員	5/20～5/22	外部	フランクリン&コピー・ジャパン
関係性構築研修	各施設で選抜した従業員	4/11・6/13・9/12・11/7・3/6	永寿特別養護老人ホーム	外部
フィーリングアーツ研修	各施設で選抜した従業員	5/23・7/11・9/26・11/28 1/23・3/27	平野西フィーリングアーツセンター	フィーリングアーツオフィス・法人フィーリングアーツセラピスト

2. 外部研修について

- ・別紙資料編参照（法人・高齢事業・障がい事業）

X.災害対策の実施について

1. 消防訓練の実施

施設名	実施日	訓練内容
特別養護老人ホーム喜連	令和6年8月30日	日中想定 通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練
	令和7年2月28日	夜間想定 通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練
喜連の杜	令和6年11月25日	夜間想定 通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練
	令和7年3月11日	日中想定 通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練
特別養護老人ホーム長吉	令和6年6月13日(木)	永寿の里彩羽と長吉包括と合同開催。日中想定での避難訓練・通報訓練を大阪消防振興協会職員立ち合いにて実施
	令和7年3月21日(木)	永寿の里彩羽と合同開催。夜間想定での避難訓練・通報訓練を平野消防署職員立ち合いにて実施
長吉西地域在宅サービスステーション	2024年5月24日	初期消火訓練、通報訓練、避難訓練
	2024年12月17日	初期消火訓練、通報訓練、避難訓練
永寿ケアセンター	令和6年6月19日	日中想定での避難訓練を実施。
	令和6年12月18日	夜間想定での避難訓練を実施。
永寿特別養護老人ホーム	令和6年7月10日	日中想定訓練 (消防立ち合い)2階出火想定 消化・通報・避難・搬送・点呼訓練
	令和7年3月24日	夜間想定訓練 3階出火想定 消化・通報・避難・搬送・点呼訓練
ロボリハ・コート永寿	令和6年12月27日	日中想定訓練 消火・通報・避難訓練
	令和7年3月22日	夜間想定訓練 消火・通報・避難訓練

1. 消防訓練の実施：続き

施設名	実施日	訓練内容
永寿平野西の家	2024年5月20日	通報、初期消火、避難誘導訓練
	2024年11月14日、11月15日	通報、初期消火、避難誘導訓練
永寿の里若葉	R6.4.30	上期 初期消火訓練・避難訓練・通報疑似訓練
	R7.3.27	下期 初期消火訓練・避難訓練・通報疑似訓練
永寿の里彩羽	R6.6.13	日中想定：特養長吉との合同訓練
	R7.3.21	夜間想定：特養長吉との合同訓練
永寿ホームあおぎり	R6.4/11.13.15 R6.5/20.21.22	上期 初期消火訓練・避難訓練・通報疑似訓練
	R6.10/11.18.21.24 R6.11/14.15.16.28	下期 初期消火訓練・避難訓練・通報疑似訓練

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）

- 特別養護老人ホーム喜連

実施日	訓練内容	備考
令和6年6月20日	従業員緊急連絡網に従って緊急訓練を実施	
令和6年9月4日	地震発生（震度6）→津波発生を想定し、お客さまの安否確認、避難誘導、従業員の安否確認、事業所内の破損確認を実施	880万人訓練として実施
令和6年11月25日	災害備蓄品や防災セットの備品操作訓練を実施。	

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）：続き

- 小規模多機能居宅介護支援 喜連の杜

実施日	訓練内容	備考
令和6年6月20日	従業員緊急連絡網に従って緊急訓練を実施	
令和6年9月4日	地震発生（震度6）→津波発生を想定し、お客さまの安否確認、避難誘導、従業員の安否確認、事業所内の破損確認を実施	880万人訓練として実施
令和6年11月25日	災害備蓄品や防災セットの備品操作訓練を実施。	

- 特別養護老人ホーム長吉

実施日	訓練内容	備考
令和6年7月19日	日中での地震発生を想定した初動対応・避難訓練	
令和6年12月13日	夜間での地震発生後の風水害を想定した初動対応・避難訓練	

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）：続き

- 長吉西地域在宅サービスステーション

実施日	訓練内容	備考
2024年9月3日	大阪880万人訓練と連動した防災訓練の実施した。身を守る行動から災害情報を基に避難・安否確認・建物の被害状況の確認までの一連を訓練した。	

- 永寿ケアセンター

実施日	訓練内容	備考
令和6年6月27日	台風による大和川氾濫を想定したシミュレーション訓練を実施。	水防法15条の3に基づき大阪市危機管理室へ訓練報告を実施。

- ロボリハ・コート永寿

実施日	訓練内容	備考
令和6年9月3日	880万人訓練として瓜破南ブロック（永寿特養 永寿ケアセンター 瓜破地域包括支援センター ロボリハ・コート永寿）にてZOOMを使用した机上訓練	880万人訓練 水防法準拠 自然災害準拠

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）：続き

- 永寿特別養護老人ホーム

実施日		
令和6年5月9日	感染症BCPに伴う感染症発生時の初動期訓練（実地）	感染症BCP準拠
令和6年6月6日 令和6年6月度	・水防法に準拠した河川氾濫想定の上訓練 垂直避難誘導対応訓練（実地） ・ジョブメドレーアカデミー動画研修「災害時の対応に関する研修」自然災害（動画）	水防法準拠 BCP訓練（自然災害）
令和6年9月3日 令和6年9月度	・880万人訓練として瓜破南ブロック（永寿特養 永寿ケアセンター 瓜破地域包括支援センター・ロポリハ・コート永寿）にてZOOMを使用した机上訓練（実地） ・ジョブメドレーアカデミー動画研修「災害時の対応に関する研修」感染症（動画）	880万人訓練 水防法準拠・自然災害準拠 BCP訓練（自然災害）
令和6年10月10日 令和6年11月7日	・あべのタスカル防災研修（実地） ・感染症発生予防訓練（実地）	BCP訓練（自然災害） 感染症BCP準拠
令和6年12月5日	備蓄食訓練 保管場所の確認 備蓄食の試食（実地）	災害BCP準拠
令和7年1月29日 令和7年2月6日	安否確認訓練 緊急メールを臨時配信し、送受信の確認（実地） 新型コロナウイルス感染症研修（実地）	災害BCP準拠 感染症BCP準拠

- 永寿平野西の家

実施日	訓練内容	備考
2024年9月3日	大阪府880万人防災訓練 地震から津波までを想定 最上階まで避難実施	

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）：続き

- 永寿の里 若葉

実施日	訓練内容	備考
R6.4.19	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.5.14	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.6.12	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.7.19	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.8.16	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.9.20	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.10.18	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.11.22	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.12.20	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R7.1.20	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R7.2.14	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R7.3.21	津波想定 避難訓練（避難誘導・点呼・ディーゼル発電機の試動）	

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）：続き

- 永寿の里 彩羽

実施日	訓練内容	備考
R6.4.19	津波想定 避難受入訓練（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）の実施	
R6.5.14	津波想定 避難受入訓練（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）の実施 BCP習練 感染症発生時BCPの確認	
R6.6.12	津波想定 避難受入訓練（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）の実施	
R6.7.19	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.8.16	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.9.20	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動） 自然災害（南海トラフ）BCP習練：動画視聴	
R6.10.18	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動） 自然災害（南海トラフ）BCP習練：動画視聴	
R6.11.22	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）	
R6.12.20	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動） 自然災害（南海トラフ）BCP習練：動画視聴	
R7.1.20	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動） 自然災害（南海トラフ）BCP習練：動画視聴	
R7.2.14	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動） 自然災害（南海トラフ）BCP習練：動画視聴	
R7.3.21	津波想定 避難受入訓練の実施（安全確保・点呼・ディーゼル発電機の試動）	

2. 災害訓練の実施（地震・津波・水害等の想定）：続き

- 永寿ホームあおぎり

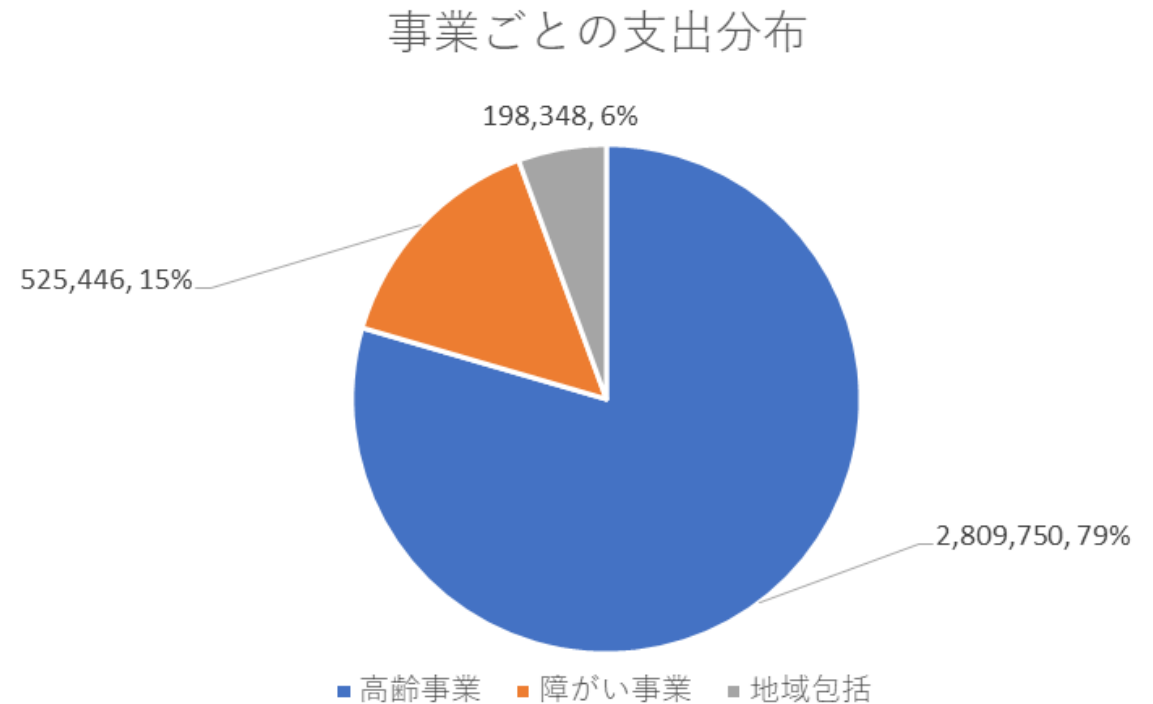
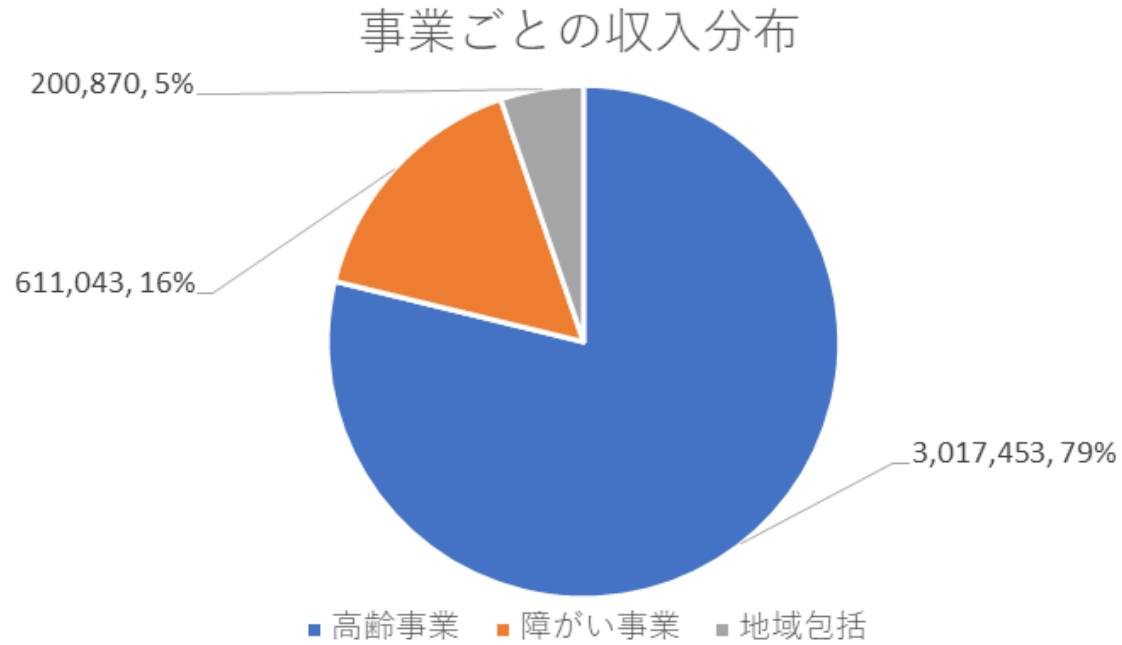
実施日	訓練内容	備考
R6.7/9.12	直下型地震発生想定避難訓練	
R6.8/10.21.22	水害発生想定避難訓練（世話人出勤時）	
R6.9/9.13.16.17	水害発生想定避難訓練（支援係世話人時）	
R6.12/9.13.16	直下型地震発生想定避難訓練（世話人出勤時）	
R7.1/11.15.20.21	直下型地震発生想定避難訓練（支援係世話人時）	
R7.2/17.22.27	水害発生想定避難訓練（世話人出勤時）	
R7.3/10.15.16	水害発生想定避難訓練（支援係世話人時）	

社会福祉法人 永寿福祉会

令和6年度 事業報告書 資料編



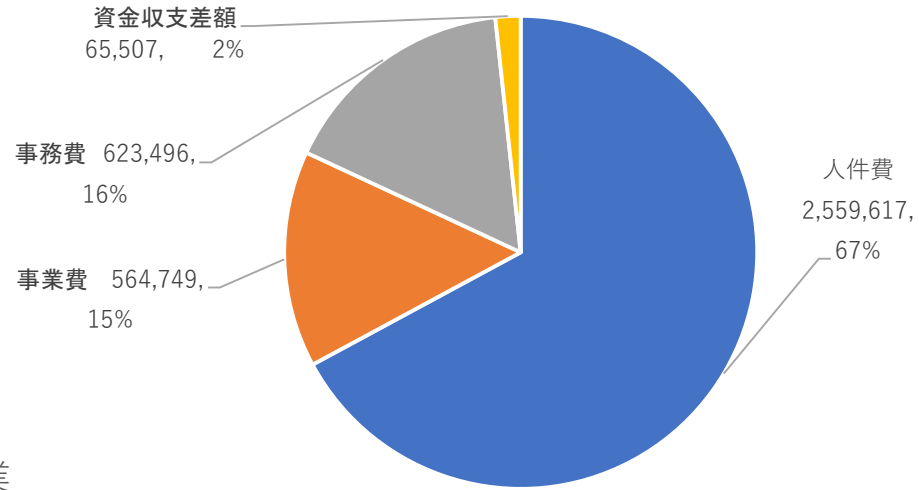
収支の状況①



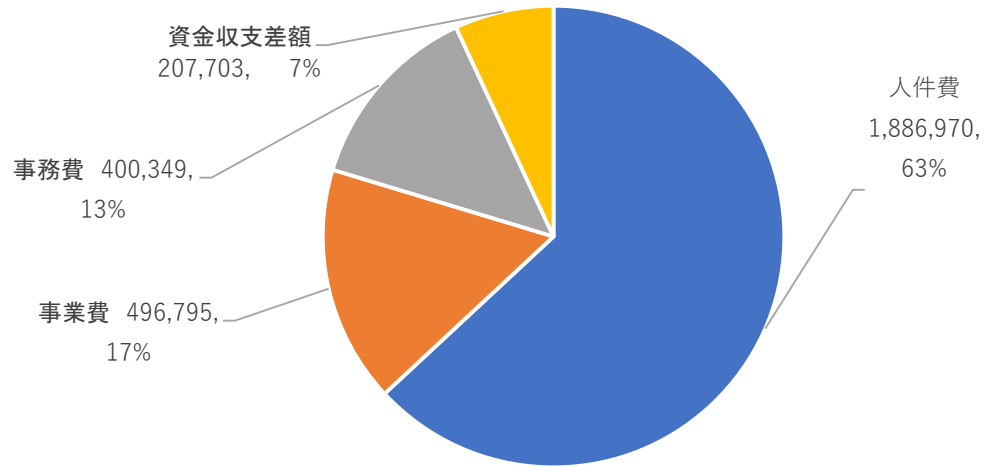
単位：千円

収支の状況②

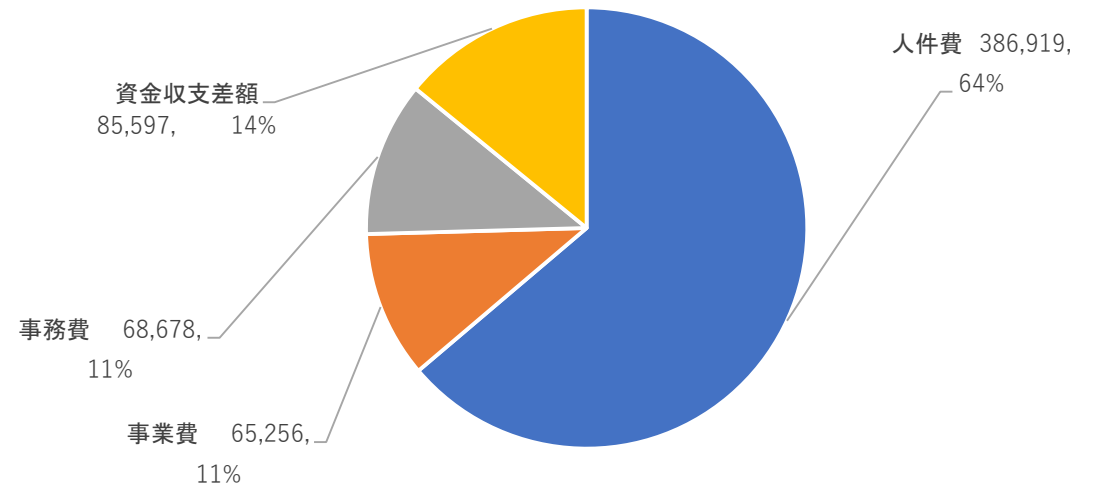
支出等内訳：法人全体



支出等内訳：高齢事業



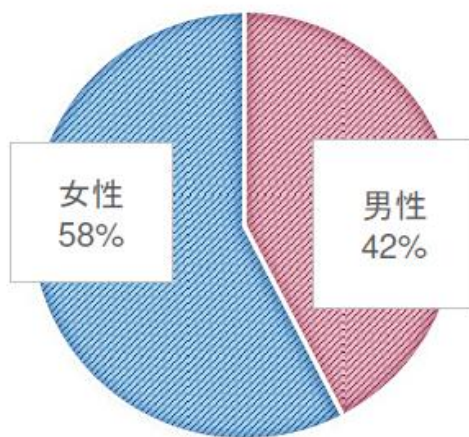
支出等内訳：障がい事業



単位：千円

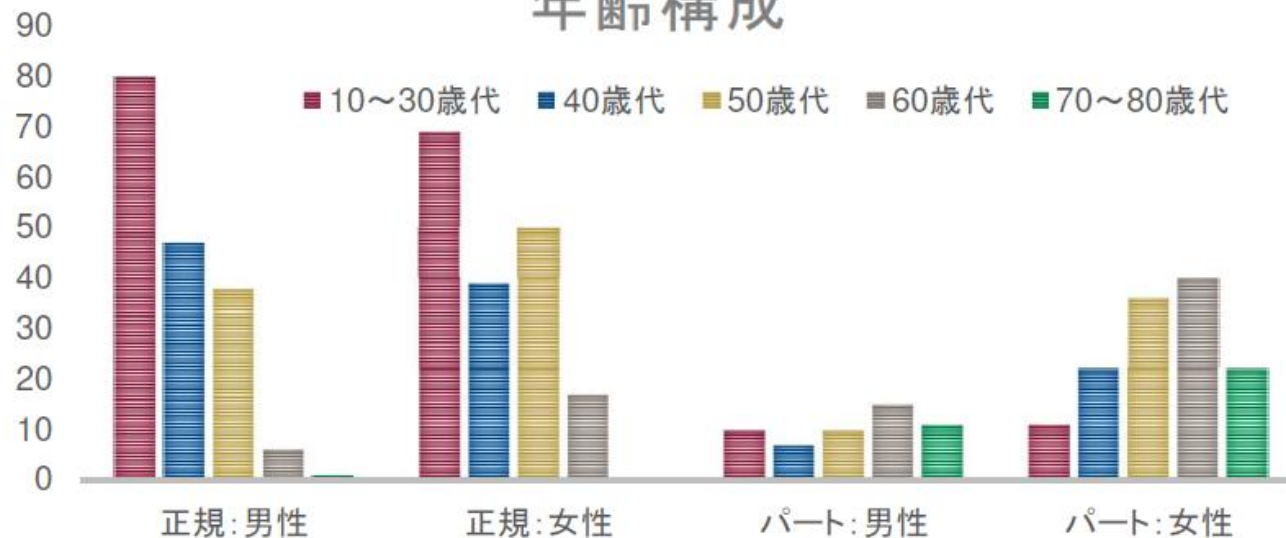
男女比

■ 男性 ■ 女性



年齢構成

■ 10~30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70~80歳代

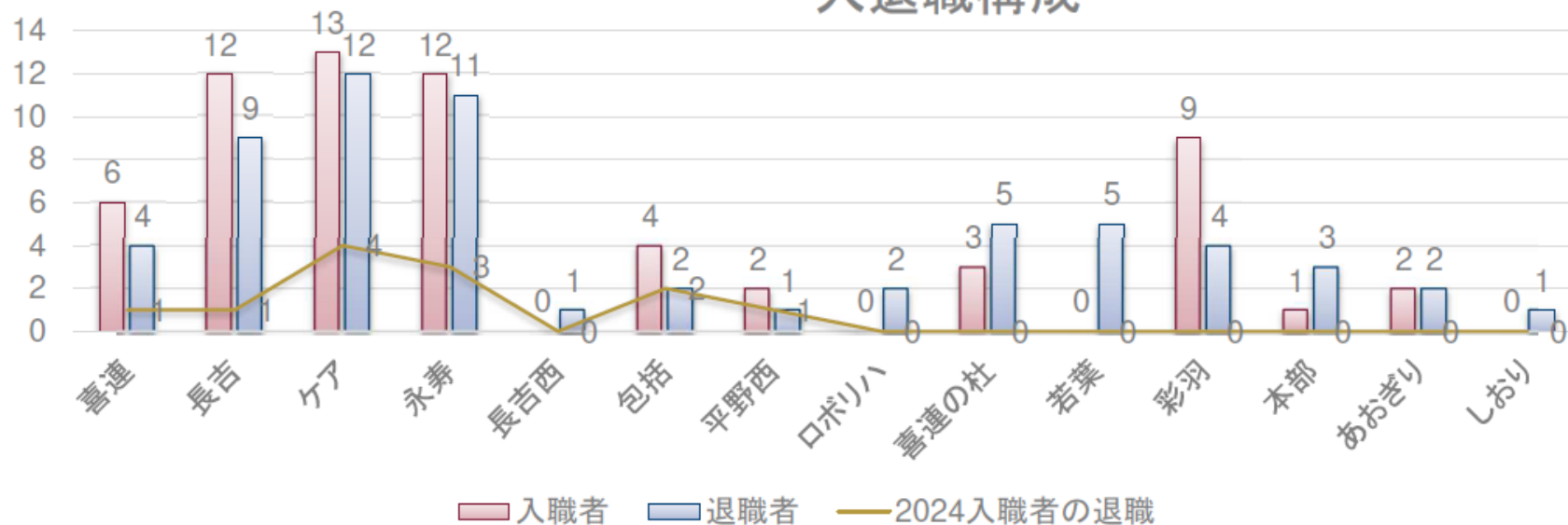


従業員総数
531名

平均年齢
48歳

平均勤続年数
9.5年

入退職構成



離職率(全体)

11.7%

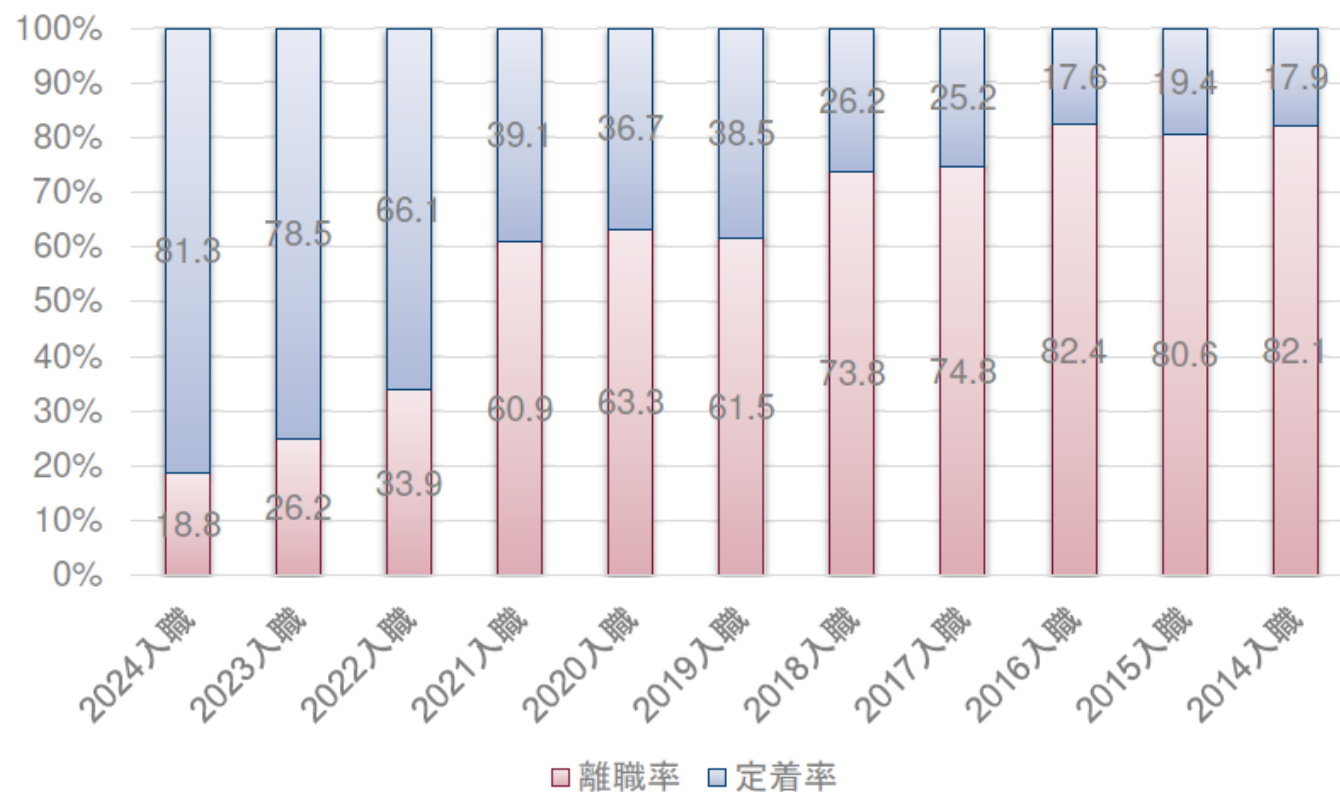
入職者数

64名

退職者数

62名

離職率・定着率(入職年別)



事業所名：特別養護老人ホーム喜連

実施日	研 修 名 催 主 催	場 所 参 加 者
2024年6月20日	高齢者虐待防止に係る研修 大阪市社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター	
2024年6月3日	食中毒の正しい知識と衛生管理について学ぶ 大阪市社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター	
2024年6月5日、7月3日、8月28日	第3弾 自然災害編BCP訓練実行支援訓練の実践 ～訓練の種類とやり方～ 一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟	
2024年7月29、30日	食中毒予防対策講習 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター	
2024年8月29日	令和6年度 地域包括支援センター職員・総合相談窓口（ランチ）職員合同研修会 大阪市社会福祉協議会 地域福祉課	
2024年9月27日	栄養士・調理師研修会 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	

事業所名：喜連の杜

実施日	研 修 名 催 主 催	場 所 参 加 者
2024年6月20日	高齢者虐待防止に係る研修 大阪市社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター	
2024年6月5日、7月10日、9月4日、11月13日	第3弾 自然災害編BCP訓練実行支援訓練の実践 ～訓練の種類とやり方～ 大阪市老人福祉施設連盟	
2024年9月12日	多職種交流勉強会 長吉地域の在宅ケアを考える会	
2024年10月19日	介護技術講習会 公益社団法人 大阪府理学療法士会	
2024年11月16日	平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会 専門職対象研修 平野区医師会 平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会	
2024年12月2日	感染症対策研修会（平時からの感染予防策） 大阪市老人福祉施設連盟	
2024年12月5日	かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修 大阪市立弘済院付属病院・医療法人 圓生会 松本診療所	
2024年12月16日	若年性認知症研修 平野区若年性認知症総合支援センター／エーザイ株式会社	
2025年1月10日	大阪市立弘済院附属病院 市民公開講座（人は何故歩けなくなるのか？・認知症の今について） 大阪公立大学大学院医学研究科と弘済院附属病院の高齢者医療に関する連携にかかる連絡協議会	
2025年1月18日	映画「オレンジ・ランプ」上映会 社会福祉法人 永寿福祉会	
2024年10月24日、11月29日、12月2日	市労連版 認知症介護実践リーダー研修 一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟	
2025年2月26日	医療と介護における栄養管理・食事ケアの推進のための情報交流会 大阪市保健所 大阪府栄養士会	

事業所名：特別養護老人ホーム長吉

実施日	研 修 名	場 所
	主 催	参 加 者
4月10日	介護保険法改正・介護報酬改正研修会	
	大阪市老人福祉施設連盟	
4月15日	2024年度サービスマナー接遇研修	
	大阪市老人福祉施設連盟	
6月5日	介護福祉士実習指導者講習会	
	介護福祉士会	
6月10日	ノーリフトケアコーディネーター養成講座ベーシック	
	一般財団法人ノーリフト協会	
7月3日	防災研修・訓練等の普及	
	大阪市老人福祉施設連	
7月13日	防災研修・訓練等の普及	
	大阪市老人福祉施設連	
8月26日	認知症介護基礎研修・研修仙台センター	
	認知症介護研究	
8月28日	防災研修・訓練等の普及	
	大阪市老人福祉施設連	
9月18日	普及員講習会	
	一般財団法人 大阪消防振興協会	
11月3日	接遇マナーの基本を徹底解説	
	株式会社エクサホームケア	

事業所名：長吉西地域在宅サービスステーション

実施日	研 修 名	場 所
	主 催	参 加 者
2024年5月18日	根拠を知ろう！そして土台を固めよう！！ 大阪介護支援専門員協会	
2024年5月22日	大阪市老人福祉施設連盟総会・記念講演 一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟	
2024年6月28日	団体等検定制度説明会 公益社団法人日本看護家政事業協会	
2024年7月9日	令和6年度平野区社会福祉施設連絡会総会 平野区社会福祉施設連絡会	
2024年7月24日	安全運転管理者講習 大阪府公安委員会	
2024年8月1日	社会福祉法人の社会的責任の理解と職員教育 一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟	
2024年8月9日	令和6年度 支援者向けゲートキーパー研修 大阪市こころの健康センター	
2024年8月29日	地域ケア会議の効果的展開 大阪市社会福祉協議会	
2024年9月2日	成年後見制度利用促進研修 大阪市成年後見支援センター	
2024年10月11日	実践におけるアセスメントのポイントは？ 大阪介護支援専門員協会	
2024年10月11日	令和6年度高齢者虐待対応中堅研修 大阪市福祉局生活福祉部	
2024年10月31日	介護支援専門員更新研修 大阪介護支援専門員協会	

事業所名：長吉西地域在宅サービスステーション 続き

実施日	研 修 名 催		場 参 加 所 者
	主	催	
2024年11月15日	大阪市老人福祉施設連盟施設長研修		
	一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟		
2024年11月16日	平野区認知症高齢者支援ネットワーク 専門職対象研修		
	平野区認知症高齢者支援ネットワーク委員会		
2024年11月18日	上級救命講習会		
	大阪市消防局		
2024年11月28日	上級救命講習会		
	大阪市消防局		
2024年11月29日	精神疾患への理解と支援		
	大阪市社会福祉協議会		
2024年11月30日	居住支援をめぐる実践と課題		
	鶴見区障がい基幹相談支援センター		
2024年12月9日	ノーリフトケアコーディネーター養成講座オンラインベーシック		
	日本ノーリフト協会		
2025年2月4日	福祉人材戦略フォーラム2025		
	一般社団法人 FACE to FUKUSHI		
2025年2月7日	令和6年度 こころの健康講座（統合失調症について知ろう）		
	大阪市こころの健康センター		
2025年2月8日	第17回 学術研究会		
	平野区介護保険事業者連絡会		
2025年2月12日	7つの習慣 SIGNATURE EDITION4.0 集中養成コース		
	フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社		

事業所名：永寿ケアセンター

実施日	研 修 名	場 所
	主 催	参 加 者
令和6年8月22日、9月17日	大阪府身体拘束ゼロ推進員養成研修	エル大阪南館
	大阪府	大橋（理）田村（介）
令和6年10月9日	第9回CareTEX大阪'24	インテックス大阪
	ブティックス株式会社	村上（課）水口（係）横手（係）
令和6年11月14、15日	第35回 全国介護老人保健施設大会 岐阜	長良川国際会議場 他
	（公社）全国老人保健施設協会	村上（課）水口（係）安西（係）吉長（主）大森（主）
令和6年11月30日	第13回日本脳神経HAL研究会	大阪オーバルホール（毎日新聞ビル）
	CYBERDYNE株式会社	水口（係）大橋（理）藤田（看）
令和6年6月10日～令和7年1月8日	ノーリフトケアコーディネーター養成講座 ベーシック	オンライン研修
	日本ノーリフト協会	藤田（補）樋引（介）駒井（看）鹿庭（理）
令和6年9月12日～12月11日	ノーリフトケアコーディネーター養成講座 アドバンス	オンライン研修
	日本ノーリフト協会	大森（主）
令和6年5月20～22日	7つの習慣研修	堺市産業振興センター
	FCEグループ	池田（主）松浦（補）大坂（相）
令和7年2月3日～3月5日	リスクマネージャー養成講座	オンライン研修
	（公社）全国老人保健施設協会	横手（係）
令和7年3月1日	看取りケアの職員研修	オンライン研修
	ダイヤ高齢社会研究財団	本原（主）池田（主）樋口（補）英（理）
令和7年1月10日、25日	メンタルヘルスセルフケア研修	特養長吉
	大阪商工会議所	藤田（補）武田（CM）

事業所名：永寿特別養護老人ホーム ①

実施日	研 修 名 催 主	場 所 参 加 者
令和6年5月20日～22日 3日間	7つの習慣研修 フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社	
令和6年5月30日、6月7日、13日、21日 7月26日	認知症介護実践者研修 大阪市社会福祉研修・情報センター	
令和6年6月5日	外部BCP訓練（自然災害） 大阪市老人福祉施設連盟	
令和6年5月26日～8月30日	介護施設における安全対策担当者養成研修 全国老人福祉施設協議会	
令和6年7月19日	施設長研修会 大阪市老人福祉施設連盟	
令和6年8月29日	救急救命講習（AED編） 平野区消防署	
令和6年10月21日	入浴介助研修（通所） 厚生労働省	
令和6年10月10日	あべのタスカル防災研修 大阪市立阿倍野防災センター	
令和6年11月26日	エンゼルケア研修 外部葬儀会社	
令和7年1月16、17、23、24、31日 2月14日、3月7日	認知症介護リーダー研修 大阪市社会福祉研修・情報センター	
令和7年2月7日～3月31日	介護施設における法律実務研修 全国老人福祉施設協議会	

事業所名：永寿ホーム 若葉

実施日	研 修 名 催 主 催	場 所 参 加 者
R6.7.21	第47回てんかん基礎講座 公益社団法人 日本てんかん協会	
R7.2~3	身体拘束適正化について Lean on Me	
R7.2~3	虐待防止研修 Lean on Me	

事業所名：永寿の里 彩羽

実施日	研 修 名	場 所
	主 催	参 加 者
R6.5.15	学習支援担当者研修	
	JICWELS	
R6.7.11~7.12	R6年度 全国知的障害関係施設長等会議	
	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会	
R6.8.27~8.28	2024年度外国人介護福祉士候補者学習支援事業 集合研修	
	公益社団法人 国際厚生事業団 国際・研修事業部 学習支援・導入研修チーム	
R6.9.27	R6年度 栄養士・調理師研修会（高齢・障がい者分野）	
	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ	
R6.10.1~12.26	就業環境整備・改善支援セミナー	
	厚生労働省	
R6.10.25~10.31	福祉現場におけるカスタマーハラスメントへの対応	
	大阪市社会福祉研修・情報センター	
R6.11.2~11.4、12.7~12.8	2024年度 介護福祉士国家試験受験に際するEPA介護福祉士候補者対象 介護課程Ⅲ講習	
	公益社団法人 国際厚生事業団 外国人介護人材支援部	
R6.12.5~12.6	2024年度外国人介護福祉士候補者学習支援事業 集合研修	
	公益社団法人 国際厚生事業団 国際・研修事業部 学習支援・導入研修チーム	
R7.1.6~1.31	公正採用人権啓発推進員「新任・基礎研修」	
	大阪府	
R7.1.9	2024年度外国人介護福祉士候補者学習支援事業 集合研修	
	公益社団法人 国際厚生事業団 国際・研修事業部 学習支援・導入研修チーム	
R7.1.30	R6年度 栄養士・看護師情報交換会	
	一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会	

事業所名：永寿の里 彩羽（続き）

実施日	研 修 名 主 催	場 所 参 加 者
R7.2.28~3.25	R6年度 特定給食講演会 大阪府・大阪市・堺市・吹田市・高槻市・枚方市・八尾市・寝屋川市・東大阪市 公益社団法人大阪府 栄養士会	
R7.2~3	身体拘束適正化について Lean on Me	
R7.2~3	虐待防止研修 Lean on Me	

事業所名：永寿ホーム あおぎり

実施日	研 修 名	場 所
	主 催	参 加 者
R6.8.5	全国知的障害関係施設長等会議	
	日本知的障害者福祉協会	
R6.7.21	第47回てんかん基礎講座	
	日本てんかん協会	
R6.10.18	令和6年度 強度行動障がい支援者養成研修【基礎研修】	
	大阪府障がい者自立相談支援センター	
R6.10.27	社会福祉士実習指導者講習会	
	大阪社会福祉士会	
R6.8.3	実習指導者フォローアップセミナー2024	
	大阪社会福祉士会	
R6.12.18	障がいの者の人権と福祉実践～あなたの価値観はどうですか？～	
	大阪市障がい者相談支援研修センター	
R6.12.17	大阪府強度行動障がい支援者養成研修【実践研修】	
	大阪府砂川厚生福祉センター	
R7.2～3	身体拘束等適正化について	
	Lean on Me	
R7.2～3	虐待防止研修	
	Lean on Me	

事業所名：長吉地域包括支援センター

実施日	研 修 名 主 催	場 所 参 加 者
5月31日	ここが変わった介護保険 ～改正に伴う留意点やポイント 公益社団法人大阪介護	
6月14日	ハラスメントについて 大阪市	
6月8日	高齢者虐待防止研修（基礎研修） 大阪市	
6月10日	感染症対策研修会 平野区役所	
6月22日	介護保険制度を取り巻く現状とケアマネジメントにおける現状と課題 大阪介護支専門員協会	
6月26日	ユマニチュード研修 医療法人三宝会	
7月12日	認知症サポーターステップアップ研修 大阪市社会福祉協議会	
7月18日	災害BCP講習会 平野区役所	
7月20日	ACP支援実践塵埃育成研修 大阪府訪問看護ステーション連絡会	
7月23日	地域包括支援センター職員研修（基礎①） 大阪市	
7月29日～30日	地域包括支援センター職員基礎研修 長寿社会開発センター	

事業所名：長吉地域包括支援センター

実施日	研 修 名 主 催	場 所 参 加 者
8月16日	認知症キャラバンメイト養成研修 大阪市社会福祉協議会	
8月27日	排泄ケア研修会 大阪市老人福祉施設連盟	
8月29日	大阪市地域包括支援センター職員研修（発展②） 大阪市	
9月16日	高齢者虐待対応初級者研修 大阪市	
9月30日	成年後見制度 発展研修 大阪市成年後見支援センター	
10月1日	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける成年後見制度促進研修会 大阪成年後見支援センター	
10月14日	高齢者虐待中堅期研修 大阪市	
10月15日	地域包括支援センター職員研修（基礎②） 大阪市	
10月23日	介護技術講習会 平野区理学療法士会	
10月25日	地域包括支援センター職員課題別研修 課題A 長寿社会開発センター	
11月7日	依存症への対応 大阪アディクションセンター	

事業所名：長吉地域包括支援センター

実施日	研 修 名 主 催	場 所 参 加 者
11月8日	地域包括支援センター職員研修（発展②） 大阪市	
10月15～24日	いきがい助け合いオンラインフェスタ すこやか財団	
2月13日	大阪市認知症セミナー 大阪市立弘済院	
3月5日	相談支援機関の絵連携・協働のための研修（包括職員基礎研修） 大阪市	
3月20日	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける成年後見制度促進研修会 ② 大阪成年後見支援センター	

事業所名：平野区瓜破地域包括支援センター

実施日	研 修 名		場 所
	主	催	
4/16	2024年度 サービスマナー接遇研修 一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟		
5/24	令和6年度地域包括支援センター職員介護予防支援業務 新任者研修 大阪市社会福祉協議会		
5/27	令和6年度 高齢者虐待対応研修(基礎研修) 大阪府福祉部高齢介護支援室介護支援課		
6/5	自然災害編 BCP訓練実行支援訓練の実施! ~訓練の種類とやり方~ 大阪市老人福祉施設連盟		
6/14	令和6年度 地域包括支援センター職員研修会(管理者①) 大阪市社会福祉協議会		
7/10	令和6年度 通所・在宅施設用 防災研修・訓練等の普及 大阪市老人福祉施設連盟		
7/23	令和6年度地域包括支援センター職員研修会(基礎①) 大阪市社会福祉協議会		
7/29	令和6年度 地域包括支援センター職員基礎研修<オンデマンド配信> 一般財団法人 長寿社会開発センター		
8/21	令和6年度 介護予防活動強化推進事業「窓口対応強化研修」 大阪府福祉部高齢介護室介護支援課 地域支援グループ		
8/29	令和6年度 地域包括支援センター職員研修会(発展①) 大阪市社会福祉協議会		

事業所名：平野区瓜破地域包括支援センター

実施日	研 修 名		場 所
	主	催	
9/4	令和6年度 通所・在宅施設等用図上訓練（DIG・シミュレーション） 大阪市老人福祉施設連盟		
9/10	【主任介護支援専門員更新研修】 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会		
9/30	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける成年後見制度利用促進研修 大阪市成年後見支援センター		
9/25	令和6年度 地域包括支援センター職員研修会（管理者②） 大阪市社会福祉協議会		
9/27	【法定外研修】介護情報基盤整備をはじめとした介護DXの理解と準備 大阪府介護支援専門員協会 旭区支部		
10/3	【主任介護支援専門員更新研修】脳血管疾患のある方のケアマネジメント 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会		
10/11	令和6年度 高齢者虐待対応中堅期研修 大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課		
10/15	令和6年度 地域包括支援センター職員研修会（基礎②） 大阪市社会福祉協議会		
10/17	【介護支援専門員更新研修】家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携 が必要な事例のケアマネジメント 公益社団法人 大阪YMCA		
10/29	令和6年度 地域包括ケアシステム充実強化研修 大阪府福祉部高齢介護室介護支援課		

事業所名：平野区瓜破地域包括支援センター

	研 修 名	場 所
10/25	令和6年度 地域包括支援センター職員課題別研修<ライブ配信> 一般財団法人 長寿社会開発センター	
11/5	【介護支援専門員更新研修】脳血管疾患のある方のケアマネジメント 公益社団法人 大阪Y M C A	
11/8	令和6年度 地域包括支援センター職員研修会（発展②） 大阪市社会福祉協議会	
11/12	【主任介護支援専門員更新研修】認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会	
11/16	るんネット専門職対象研修 「明日から役立つ！支援者の為の認知症講座 ～注意すべき症状や家族支援を中心に～」 平野区民ホール	
11/22	【法定外研修】ケアマネジメント業務におけるハラスメント研修 大阪府介護支援専門員協会 平野区支部	
11/25	【介護支援専門員更新研修】認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント 公益社団法人 大阪YMCA	
11/29	令和6年度鶴見区社会福祉講演会 若年性認知症の母と生きる 大阪市鶴見区社会福祉協議会	
12/12	【介護支援専門員更新研修】大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント 公益社団法人 大阪Y M C A	
12/12	【主任介護支援専門員更新研修】大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会	

事業所名：平野区瓜破地域包括支援センター

実施日	研 修 名 催		場 参 加 所 者
	主	催	
12/13	令和6年度 高齢者虐待研修 平野区内地域包括支援センター・平野区役所		
12/24	ハラスメント研修 社会福祉法人 永寿福社会		
1/9	【主任介護支援専門員更新研修】心疾患のある方のケアマネジメント 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会		
1/16	【介護支援専門員更新研修】心疾患のある方のケアマネジメント 公益社団法人 大阪Y M C A		
1/24	令和6年度第4回大阪市認知症サポーター ステップアップ研修 ひらのオレンジチーム		
1/29	【介護支援専門員更新研修】誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 公益社団法人 大阪Y M C A		
2/4	【主任介護支援専門員更新研修】誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会		
3/4	【主任介護支援専門員更新研修】看取り等における看護サービスの活用に関する事例 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会		
3/18	【介護支援専門員更新研修】看取り等における看護サービスの活用に関する事例 公益社団法人 大阪Y M C A		
3/18	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける成年後見制度利用促進研修（発表編） 大阪市成年後見支援センター		

事業所名：居住支援法人

実施日	研 修 名	場 所
	主 催	参 加 者
8月19日	2024年度 居住支援研修会・交流会	
	大阪府・Osakaあんしん住まい推進協議会	
11月8日	法改正による居住支援法人の新たな役割	
	一般社団法人全国居住支援法人協議会	
11月21日	居住支援協議会と居住支援法人との連携のあり方	
	一般社団法人全国居住支援法人協議会	
11月28日	居住支援セミナー『住まいと生活支援を一体的（包括的）に考える』	
	社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会・社会福祉法人桃林会	
12月6日	第1回 外国人の入居受入れサポート	
	日本賃貸住宅管理協会	
12月18日	地域連携、不動産・福祉の連携事例	
	一般社団法人全国居住支援法人協議会	
1月10日	令和6年度「居住支援法人 実践研修会」	
	大阪府社会福祉協議会	
1月17日	第2回 外国人の入居受入れサポート	
	日本賃貸住宅管理協会	
1月28日	令和6年度 居住支援連携の促進に向けた交流会	
	大阪市都市整備局企画部安心居住課	
3月7日	残置物モデル契約条項活用セミナー	
	一般社団法人 家財整理相談窓口	
3月12日	令和6年度 居住支援全国サミット	
	厚生労働省・国土交通省	